



平成24年1月20日(金)発行  
西脇市立西脇東中学校 広報『東雲』  
第10号(通刊204号)  
TEL 22-3905 FAX 22-5020

# 新年あけましておめでとうございます 今年も西脇東中学校にご協力をよろしくお願いいたします。

「夢の扉を開けよう！」

学校長 村井 省

新春を迎え、寒さに負けず毎日元気に登校する生徒たちで学校は活気にあふれています。平成24年も順調なスタートを切りました。

三学期は、三年生にとっては進路決定のとても大事な時期です。卒業までの残された日々を、全力で勉学に励み、希望を実現させてください。一、二年生にとってもそれぞれの学年のまとめをする重要な学期です。自分に甘えることなく、厳しく自己を鍛えてください。今頑張ることが、将来の自分の可能性を大きく広げることになるのです。

道徳の副読本「心かがやく」の中でオーケストラの指揮者、佐渡裕さんが「夢への扉を開ける鍵」と題してこんなことを書かれています。「目の前にチャンスが訪れた時に『自分には無理ではないか』とあきらめず、毎回その小さなチャンスに勇気を出して立ち向かったこと、それが夢への扉につながった。やりたいと思う夢を実現するために、自分自身で開けなくてはならない扉は目の前にある。そんな時こそ勇気をふりしぼり、最初の一步を踏み出さなければならぬ。」と。

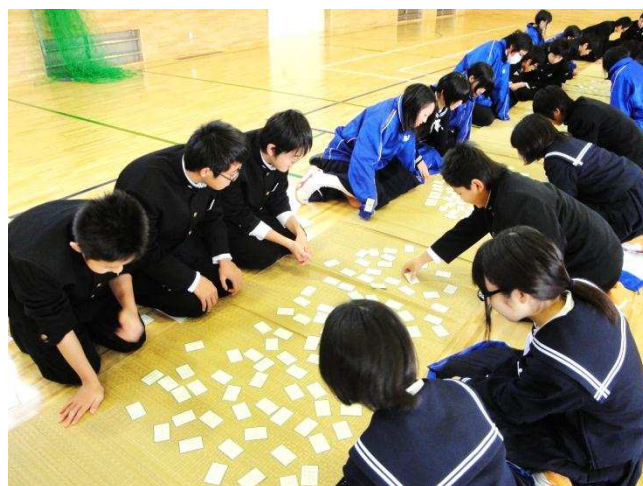
さあ、皆さんも自分の夢に向かって、勇気を出して力強く夢の扉を開けてください！

## 新春恒例！百人一首大会

1月10日(火)始業式の後、恒例の百人一首大会が本校体育館で行われました。お正月らしい箏曲のBGMが流れる中、読み手である伊藤先生・松橋先生・岸口先生のすてきな声や、札を取る時の「ハイ！」の音が響きあい、和やかな雰囲気のもと楽しい時間を過ごすことができました。クラスの平均取り札の数を競い合い、勝負をかけた札の取り合いにみんな真剣そのものでした。



優勝 3年1組



準優勝 3年2組

# 第5回 全国中学校美術部作品展 表彰式

おめでとう！ 毎日新聞社賞 長井良祐 堺市文化振興財団賞 宇高美樹

1月8日（日）、全国の中学校美術部の最高峰のコンクールである第5回全国中学校美術部作品展（アートクラブ グラプリ in SAKAI）の表彰式が堺市立東文化会館で行われました。ギャラリーには全国から集まった入選作品が展示してあり、その中に、本校の長井良祐と宇高美樹さんの作品も展示してありました。表彰式の後、レセプションが行われ、美術部の3名と顧問の長谷川先生がステージに上げられ、アートクラブグランプリの常連校として紹介されました。西脇東中学校美術部が全国から注目をあびました。



## 資源ゴミ回収 にご協力ありがとうございました。



1月14日（土）に西脇東中学校区の鹿野町・高嶋町・塚口町・堀町の4町で資源ゴミ回収を実施しました。地域の皆様には、大変ご協力いただき、ありがとうございました。お陰様でたくさんの資源ゴミを回収し、無事終わることができました。

## 「1.17は忘れない」防災訓練・追悼集会



1月17日（火）の1校時に、防災訓練並びに東日本大震災と阪神・淡路大震災で亡くなられた方々の追悼集会を行いました。避難訓練の後、全員で1分間の黙祷を行い、校長先生の訓話を聞き、防災学習としてビデオ鑑賞をしました。

昨年の3月11日に東日本を襲った大地震と大津波で19,294人（H24.11.11 現在）もの尊い人命が失われたことは記憶に新しいところです。

私たちの住む兵庫県でも、1995年（平成7年）1月17日、県南部をおそった大地震は、6,400人を超える人々の命を奪い、それまでに築き上げてきた町や暮らしを一瞬のうちに壊してしまいました。

我々大人にとっては、忘れることのできない身近な大災害ですが、発生から17年の年月が流れ、今の中学生の生まれる前の出来事となりました。しかし、昨年の大震災で、生徒たちも改めて自然の猛威に恐れおののいたことでしょう。そこで、こうした防災訓練や追悼集会を実施することにより、大震災の経験と教訓を継承し、大震災を風化させることなく、将来おこるかもしれない災害への備えの大切さを次の世代へ語り継ぐことは必要不可欠のことと考えます。



生徒たちは真剣に話に聞き入り、この上なく貴重な時間となりました。